

## 「インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し」等に関するアンケート結果(2014～2019年度)

(対象：正会員・準会員・特例会員189行、単位：件、百万円)

## 1. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について

時 期	個人顧客		法人顧客	
	件数	金額	件数	金額
2014年度	1,056	1,212	119	448
2015年度	1,124	1,261	55	427
2016年度	576	709	54	234
2017年度	235	416	34	271
2018年度	223	383	10	17
2019年度	1,628	1,736	14	32

## 2. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について【個人顧客】

時 期	対応方針 決定済件数 ①	うち補償件数 ②	補償率 (②÷①)
2014年度	1052	991	94.2%
2015年度	1107	1088	98.3%
2016年度	566	525	92.8%
2017年度	233	209	89.7%
2018年度	216	207	95.8%
2019年度	1,622	1605	99.0%

- (注 1) アンケート結果は、自行のお客さま(預金者)からの申出があり、当該口座を確認したところ、本人の意思によらずに、当該口座の預金が不正に移動された等、本人以外による預金等の不正な払戻しが発生しており、資金移動後、振込資金がすでに引出されるなど被害者に返還できない件数・金額を計上(配偶者や親族等による払戻し、認証情報の不正取得によるインターネット・バンキングの不正申込を起因とした事案を除く)。
- (注 2) 「時期」とは当該事案について、預金等の払戻しが発生した時期。
- (注 3) 「件数」は、原則として預金名義人単位。「2.」の「対応方針決定済件数」は、「1.」の「件数」の内訳。
- (注 4) 「2.」は、個人のお客様に係る件数等。
- (注 5) 2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。
- (注 6) 金融機関が各期に発生した被害を調査し対応方針を決定するまでには一定の時間を要するため、「対応方針決定済件数」、「補償件数」および「補償率」は修正の可能性がある。

## 「インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し」等に関するアンケート結果(2020年度～)

(対象：正会員・準会員・特例会員189行、単位：件、百万円)

## 1. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について(図1)

時 期	個人顧客		法人顧客	
	件数	金額	件数	金額
2020年度	1,296	1,478	28	33
2020年4月～6月	388	452	14	17
2020年7月～9月	246	471	5	6
2020年10月～12月	393	346	6	6
2021年1月～3月	269	208	3	3
2021年度	237	638	10	106
2021年4月～6月	29	97	3	31
2021年7月～9月	128	174	6	64
2021年10月～12月	41	257	0	0
2022年1月～3月	39	109	1	11
2022年度	1,627	2,208	18	60
2022年4月～6月	81	199	2	1
2022年7月～9月	651	744	3	4
2022年10月～12月	268	409	2	9
2023年1月～3月	627	856	11	45
2023年度	4,980	8,107	55	155
2023年4月～6月	1,669	2,047	25	62
2023年7月～9月	1,453	2,601	12	49
2023年10月～12月	958	2,319	3	23
2024年1月～3月	900	1,141	15	20

## 2. インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について【個人顧客】(図2)

時 期	対応方針 決定済件数 (①)	うち補償件数 (②)	補償率 (②÷①)
2020年度	1,248	1,191	95.4%
2020年4月～6月	371	361	97.3%
2020年7月～9月	243	233	95.9%
2020年10月～12月	365	339	92.9%
2021年1月～3月	269	258	95.9%
2021年度	234	200	85.5%
2021年4月～6月	29	20	69.0%
2021年7月～9月	126	118	93.7%
2021年10月～12月	41	30	73.2%
2022年1月～3月	38	32	84.2%
2022年度	1,467	1,372	93.5%
2022年4月～6月	74	63	85.1%
2022年7月～9月	634	617	97.3%
2022年10月～12月	253	223	88.1%
2023年1月～3月	506	469	92.7%
2023年度	4,326	4,130	95.5%
2023年4月～6月	1,552	1,490	96.0%
2023年7月～9月	1,413	1,345	95.2%
2023年10月～12月	905	861	95.1%
2024年1月～3月	456	434	95.2%

(注 1) アンケート結果は、自行のお客さま(預金者)からの申出があり、当該口座を確認したところ、本人の意思によらずに、当該口座の預金不正に移動された等、本人以外による預金等の不正な払戻しが発生しており、資金移動後、振込資金がすでに引出されるなど被害者に返還できない件数・金額を計上(配偶者や親族等による払戻し、認証情報の不正取得によるインターネット・バンキングの不正申込を起因とした事案を除く)。

(注 2) 「時期」とは、当該事案について、預金等の払戻しが発生した時期。

(注 3) 「件数」は、原則として預金名義人単位。「2.」の「対応方針決定済件数」は、「1.」の「件数」の内訳。

(注 4) 「2.」は、個人のお客さまに係る件数等。

(注 5) 2014年度以降の計数から、特例会員の計数を含めて集計している。

(注 6) 金融機関が各期に発生した被害を調査し対応方針を決定するまでには一定の時間を要するため、「対応方針決定済件数」、「補償件数」および「補償率」は修正の可能性がある。

図1: インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し件数・金額について

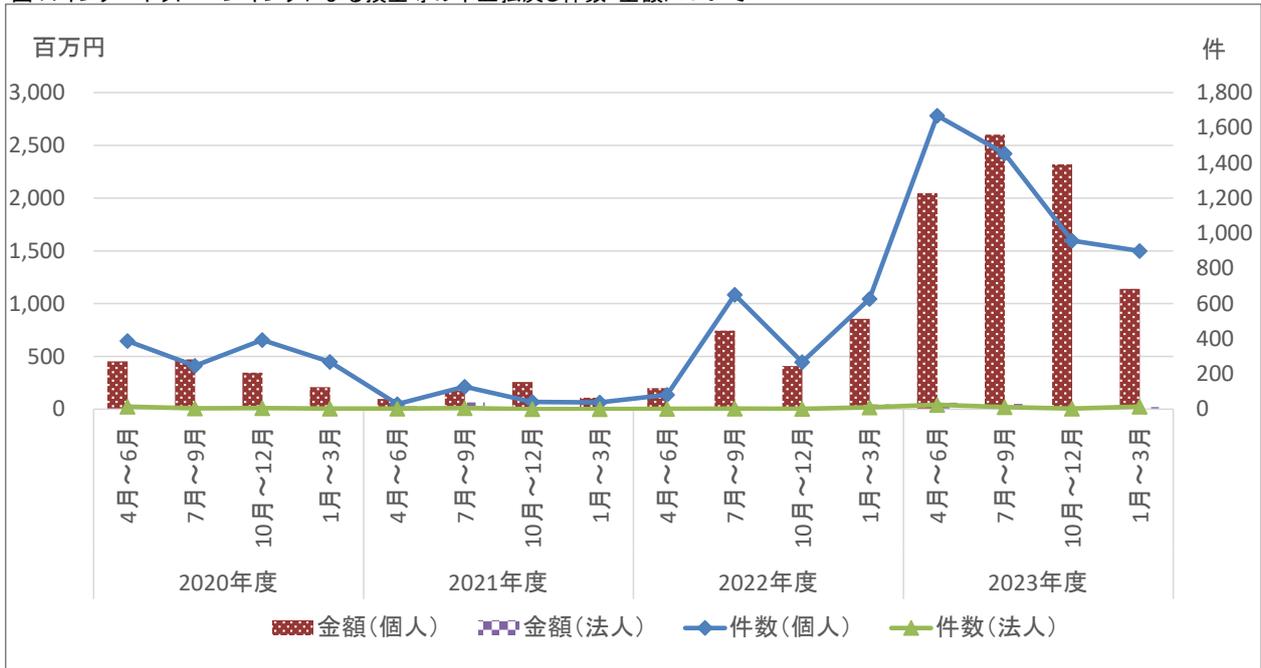


図2: インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにかかる補償件数等について(個人のみ)



以上